

平成 17 年 3 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
代 表 者 名 代表取締役社長 二 宮 利 彦  
コ ー ド 番 号 1 7 1 2 東 証 マ ザ ー ズ  
問 合 せ 先 取締役企画管理部長 村 上 実  
電 話 番 号 0 5 2 ( 6 1 1 ) 6 3 5 0 ( 代 表 )  
当社の親会社 株 式 会 社 ダ イ セ キ  
代 表 者 名 代表取締役社長 伊 藤 博 之  
コ ー ド 番 号 9 7 9 3 東 証 第 一 部

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 1 月 26 日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成 17 年 2 月期（平成 16 年 3 月 1 日～平成 17 年 2 月 28 日）の業績予想について、売上高が公表値を 8.4% 上回る見込みとなったため、マザーズ市場の特性に鑑み、お知らせいたします。また、経常利益、当期純利益の増減率につきましては、売上高の増減率に比べ低水準となった理由も併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 17 年 2 月期業績予想値の修正

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,300	80	44
今 回 修 正 予 想 (B)	2,494	83	46
増 減 額 (B-A)	194	3	2
増 減 率 (%)	8.4	4.4	5.0
前 期 (平成 16 年 2 月期) 実 績	1,543	151	87

#### 2. 修正理由

##### (1) 売上高

売上高につきましては、昨年 11 月に横浜リサイクルセンターが稼働したことを機に、関東地区での積極的な受注活動を進めた結果、計画を大幅に上回る受注につながりました。

また、不動産売買をはじめ、減損会計、環境報告書他、様々な経済活動の中で、土壌汚染に係わる環境リスクの認識が深まり、浸透しております。そうした社会的背景のもとに、土壌調査・処理とも、実施件数は着実に増加しており、足元の受注状況は引き続き順調に推移しております。

その結果、売上高は 2,494 百万円（前回予想比 194 百万円の増加）となる見込みであります。

## (2) 経常利益

経常利益につきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加により 83 百万円（前回予想比 3 百万円の増加）となる見込みであります。

売上高の増加率（前回予想比 8.4%の増加）に比べて、経常利益の増加率（前回予想比 4.4%の増加）が低い予想になりましたのは、以下の要因によります。

### 外注費、賃借料等の増加。

汚染土壌処理に関して、名古屋、横浜の両リサイクルセンターとも、受注が好調に推移しましたが、案件が集中した時期は、当社の設備、人員だけでは対応できず、機器、作業員等を外部調達いたしました。その結果、外注費、賃借料等の経費が増加いたしました。

今後は、旺盛な受注状況に対応するため、名古屋、横浜の両リサイクルセンターの処理能力を増強するための設備投資を実施する方針です。

### 低利益率案件の処理

知名度向上によるシェア拡大のため、積極的に受注した低利益率案件の処理が継続したことにより、全体の利益率も、低水準で推移いたしました。

知名度向上のための施策は順調に効果が現れているため、今後は、受注実績重視から、利益率重視へ営業方針を移行し、選別受注を進めることにより利益率を改善させる所存です。

## (3) 当期純利益

当期純利益につきましては、特筆すべき特別損益の発生がないため、経常利益の増加に伴い 46 百万円（前回予想比 2 百万円の増加）となる見込みであります。

以上